



広報
Public relations
NEBA

ねば

5

2023 May.
Vol.216



- P 2 村長就任のご挨拶
- P 3-6 議員紹介 他
- P 7 第2回 臨時議会(初議会) 他
- P 8 税金納付
- P 9 地域おこし協力隊の紹介
- P 10 筒井 甫氏(取手) 旭日單光章を授与 他
- P 11 令和5年度シニアクラブ総会 他
- P 12 杉っ子だより

【今月の表紙】

5月1日に、大久保憲一村長が4期目
初登庁しました。

村長就任のご挨拶

根羽村長 大久保 憲一



この度の村長選挙において、村民の皆さんのご支持を頂き4期目の村政を担わさせて頂くこととなりました。改めてその職責の重大さを痛感するとともに、これからの村づくりに向けて身の引き締まる思いであります。

さて、この3期12年間、村民の皆さんはじめ多くの関係する皆さんのご協力によって、今日まで村づくりを進めてくることができましたことに改めて感謝と御礼を申し上げます。今私達の地域を取り巻く課題は多様化、かつ山積化しています。特に、少子高齢化による影響は大きくこれから「いかにこの地域に住み続けられる取り組みを進めて行くのか」がとても大切になっ

てきます。地域づくりは常に

次の課題に向って着実に前へと進めて行かなくてはならないと考えています。この4期目においては「村民の皆さんが『誇り』と『自信』を持つて生き生きと暮らす元氣な村を目指し、しっかりと次世代につないで行く」ことを目標に村づくりに取り組んでまいりたいと考えています。具体的には「安全・安心な暮らしの実現」、「地域産業のパワーアップ」、「人づくり、学びの村づくり」、「多様な連携による村づくり」の4つを重点項目とし着実に村づくりを進めてまいりたいと考えています。

まず、「安全・安心な暮らしの実現」であります。近年世界各地で災害が頻発化かつ激甚化しており、当村でも災害への対策は喫緊の重要課題であります。まず早急に老朽化した防災無線のデジタル化を進め、村内への情報伝達手段の整備を進めます。また

災害を未然に防ぐための砂防

堰堤等のハード施設整備を積極的に進めるとともに、避難等を含めた様々なソフト対策にも積極的に取り組んでまいります。また、村内では空家が増えてきており問題となっています。このため空家の利活用を含めた対応策について地域協力隊の専門職員を配置し民間企業とも連携した取り組みを進めて行きます。医療環境面の充実については、地元医療機関との連携強化を図るとともに検診体制の充実と併せ、将来的にICTを活用した健康づくりの推進に努めてまいりたいと考えています。福祉対策の充実については、生きがい対策や福祉・介護サービスの充実、高齢者の皆さんはじめ村内の交通移動手段の充実に取組んでまいります。また村営住宅の整備を進めることによって村内での雇用の推進を図るほか、学校給食費の無償化を実施してまいります。次に「地域産業の

パワーアップ」についてであります。村が元氣であるためには村内の企業や商店の皆さんが元氣に活動することが重要であり、それぞれの皆さんとしっかりと連携して成長化を応援してまいります。またトータル林業のさらなる推進と森林資源の積極的な利活用の推進、地域の特性を生かした農業等への取組への支援、恵まれた自然環境を生かした観光客の誘致、木の糸やエネルギー利用など地域資源を活用した環境に配慮した新たな産業の創出、いくつかの仕事を重ねる多業化を含めた新たな働き方への支援等を進めて行きたいと考えています。次に「人づくり、学びの村づくり」であります。村民の皆さんが共に学び共に活動する取り組みを進めるとともに、年代間での情報交換や、それぞれの関わり場の創出して行きたいと考えています。また次世代を担う子供達への子育て支援の充実、義務教育学校と保育所との連携を強化し、子供の個性を生かした教育の推進、放課後子ども教室や村営塾の充実、SDGsの推進と環境教育の推進を図って行きたいと考えています。次に

「多様な連携による村づくり」であります。根羽村は矢作川の源流にあり、この特性を生かした多様な関係性づくりを進め、こうした取り組みを村民の皆さんともしっかりと情報共有しながら、外部に対して積極的な情報発信をして行きたいと考えています。こうした取り組みが関係人口の増加につながるとともに、将来的に移住・定住へと結び付けたいと考えています。これから私達の住む飯田下伊那地域はリニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通によって、交通環境とともに地域の置かれた環境が大きくそして劇的に変わって行きます。こうした新しい時代に向かう中で、村民の皆さんが「根羽村に住んで良かった」とそして「これからも住み続けたい」と思える村」となるよう、村民の皆さんと一緒に村づくりを進めてまいりたいと考えています。村民の皆さんはじめ多くの関係する皆さんの引き続きのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。任にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

議

員

紹

介

坂巻 秀高



風香る5月を迎え、棚田に水が張られ、野山に動しむ姿が見受けられる季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。此度村議会に皆様のご支援により送り出して頂きました。また、初議会において議長に就任することになりました。皆様の付託に応えるべく改めて身の引き締まる想いでございます。「任重くして道遠し」、政策実現には手間暇がかかりますが、初心に帰り皆様のご期待に添えるよう邁進してまいります。先般の村議選挙戦を振り返ると、統一地方選挙は、県議会9日投開票、近隣市議

選など支援応援しながらの中、4日に事前説明会が済む間もなく、11日事前審査、18日告示、12年ぶりの村議会議員選挙に突入しました。選挙運動期間は5日間と短期決戦です。私としては準備不足は否めず、いつもは自転車ですり旗を背負って遊説していましたが、今回軽トラに急遽仕立て遊説することとしました。遊説中に政策や方針は皆様に届いたかどうかは疑問の残るところです。手を振って応えてくれた人有難うございました。令和2年から公職選挙法が変わり明るい選挙と申しまして田舎の選挙は、地縁、血縁、無縁の選挙であります。結果はご承知の通りでございます。決して勝ち続んでいる場合ではありません。涙を呑んだ友もいます、しこりが残らないとは中々言い難い。そんな選挙でございました。私の政策等については選挙公報にて提言させて頂いております。コロナが明け、

明るい将来を皆様と共に展望してまいりたい。そうした想いで4年間という限られた中で、共に語らいこうあるべきだを模索してまいりたい。

兎角政治は過去形になりやすい、過ぎ去ったことに足踏みはしてられない。新人4人をお迎えし、コロナが明けようとする今こそ、ICT等新時代に追隨する開かれた根羽村議会を目指してまいりたいと思います。村民皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせて頂きます。

石原 理好



今冬は例年にない寒さが続きましたが春の声を聞くと急に暖かさが進み根羽の里にも新緑が訪れ、初夏を思わせるような暑さが続き体調の維持管理が大変な年となりました。

この度根羽村議会議員一般

選挙において地区の皆様を始め多くの皆様のご支援を頂き2期目の当選をさせて頂きましたことに心から感謝申し上げます。

12年ぶりに村議会選挙となり激戦となりました身を引き締めて村の発展に努めていく決意を固めた次第です。

新型コロナウイルス感染症も3年が経過し経済活動の再開が求められる中でありますが、感染症対策、第5類に移行が決まり今後流行の兆しをどのようにつかむか個人の判断にゆだねられますし感染症対策が重要となります、医療体制や流行症状を村民にどのように伝えるか大切になります。また、ロシアによるウクライナ軍事侵攻は日本にまで影響し庶民を追い詰める物価高や円安も加わり農業資材・肥料・飼料等の資源材料価格の高騰に加え、エネルギー価格の高騰は営農事業に厳しさを与え不安を抱えています。早く停戦することを願うばかりです。

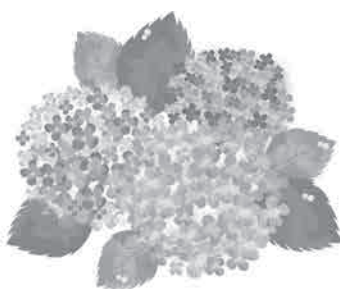
1期目を糧に努力して参りますが、1期の3年間は村民が新型コロナウイルス感染症に不安な生活の中緊急事態宣言が発令され経済も閉塞状態となり、政務活動も十分できま

せんでした。

専門である農政活動に尽力して参りますが、村の大きな課題は少子高齢化と人口減少で、このことは全国的な自治体の抱える課題でもあり農事組合法人ねばねの運営にも影響し、労働力の低下は避けることのできない状況にあります、遊休農地を増加させないためにも新規加入者を公募し維持していかなくてはなりません。

今後農家が農業を維持管理していくためには、水田、露地野菜、家庭菜園などを鳥獣害から被害を防ぐ工夫が必要となります、安心して農業ができるよう鳥獣害対策を進めて参ります。

村民の皆様方の意見を良く聞き村の発展につながるよう村政に努めて参りますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



片桐雅浩



みなさん、こんにちは。4月に行われました統一地方選で根羽村村会議員に当選させて頂きました、片桐雅浩です。選挙では大変多くの皆様にご支持いただき、本当にありがとうございました。皆様の期待にしっかりと応えていかなければならないと、その責任の重さを痛感しております。議員としてみなさんの声や想いをとどけるように、きちんと勉強をし、村の役に立てるような議員になっていきたいと考えておりますので、これからもみなさんのご支援をいただき、一人前の議員になりますように叱咤激励もよろしくお願いいたします。

さて、これからの議員活動といたしまして、次にあげる事を中心としながら、今ある村のさまざまな課題に取り組みたいと考えております。

①安心して子育てができ、子供が未来に夢をもてる村づくり

子育て世代への手厚い補助の拡充を行い、子供たちがこの村に生まれてよかった、社会人になっても根羽に住み続けたいと思える、村民第一の施策に取り組みたい。また根羽学園の教育環境の充実をはかり、子供たちがイキイキと学び、しっかりとした学力がつけられるよう、学園の授業内容や指導内容を検証し、よりよい学園になるよう協力してまいります。

②観光資源の保全と観光事業の強化

大杉や茶臼山などの貴重な観光資源をしっかりと保護しながら、これらを活用して更なる観光客や交流人口の増加を目指します。また観光協会の体制と事業の見直しを行います。

③商工業の振興

村から企業がなくなれば税収も減りさらに元気がない村になってしまいます。地域発展の為にも商工業を守っていきます。

何より村民の声聞いて共に村をよくしていきたいと考えて

しております。積極的に対話の場をつくり、みんなで政策提言できるような環境を作りたいと考えています。村民の皆様と一緒に根羽を盛り上げ、素晴らしい村になるよう行動していきます。よろしくお願いします。

三浦寛本



この度の根羽村議会議員一般選挙におきまして、多くの村民の皆様方からの温かいご支援とご支持のお力により、根羽村議会議員に当選させて頂き、心より感謝申し上げます。加えて、重責の一端を担う事となり、身の引き締まる思いでいっぱいでありま

す。今年4月1日現在の県が公表した根羽村の高齢化率が、53・1%で、県内3番目と非常に高くなってしまった今、根羽村では、すぐにでもやらなくてはならない事が山積していると思います。その中で私は、次に掲げる3つの安心を実現出来るよう、村民の皆様のご意見等をしっかりと聞きし、実行して参りたいと思います。「健康の安心」働き盛り世代の方々にある予防接種等の負担を無くす事、75歳以上の方への人間ドック補助金交付など、予防医療実施による安心の確保。「子育ての安心」子育て世代の方々から要望がとても多い、安心・安全に遊べる遊具のある児童公園の設置は、是非とも実現して行きたい事業の1つです。長引く経済の低迷、原油価格高騰による光熱費負担増、全ての商品値上げによる物価高で、家計への負担は増大しております。更なる子育て応援券の交付で支援を実施。「暮らしの安全」最近各地で大きな地震が頻繁に発生しております。根羽村でも南海トラフ大地震の影響が懸念されている中、根羽村のライフラインの1つである上水道管が、昭和五十年代に敷設整備されたままの管を含め、耐震対応への敷設替えが急務であり、早期着工が必要であると考えます。この他にもインフラ整備が必要な事業が沢山あると思われま

す。この度の根羽村議会議員一般選挙におきましては、多くの皆様から温かいご支援をいただきました。誠にありがとうございます。改めて身の引き締まる思いがしております。

片桐紳一郎



と共に考え、優先順位を精査し、不安要素解消への舵取りが、より良い方向へと向かえるよう、精一杯頑張りたいと思います。何より村民ファーストに物事を考え、「今根羽村では何をやるのか?」「根羽村の進むべき道は何処?」といった声が出ないよう、情報公開など積極的に行い、また村民の皆様のご意見・ご要望をしっかりと聞きし、住みやすく魅力ある根羽村を目指して日々精進して参りますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

さて私ですが、豊田市で教員生活をはじめ、その後、稲武町へ転勤になり、結婚を機に30歳で根羽村に戻ってきました。中学校卒業後、15年ぶりでした。根羽村に戻ってきたとはいえ、勤務は愛知県でしたので、毎日家を出るのが朝6時半頃、帰ってくるのは、9時や10時（たまには遊んでいたこともありましたが）。仕事人間だったため、土日ほとんど家（村内）にいました。

これでは根羽に戻ってきた意味がないと思い立ち、最初にやったことが、根羽村消防団に入ることでした。入団してはみたものの、ほとんどが初めての方ばかり。緊張の連続でした。幸か不幸か2年目に操法の大会が北洞担当となり、指揮者を任せられ、週に3～4日の練習、一気に親睦を深めることができました。また、翌年には七年祭。1か月余り毎晩練習に通い続け、何とか北洞のまわり太鼓を打つことができるようになりました。さらに人間関係も深まりました。

教員としては、専門である算数・数学の研究はもちろん、小学校では児童の手による小運動会の開催、中学校では生

徒主体の文化祭を立ち上げたりました。しっかりと学力をつけること、子どもが主体となる教育活動を行うことなどにこだわってやってきました。また、特別支援教育やへき地教育、県教育委員会などにも関わってきました。

そして4年前、名倉小学校長を最後に退職を迎え、37年間の教職員生活にピリオドを打ちました。その後農業にこそしんでいましたが、縁あって教育委員を拝命し、2年半教育長職務代理を務め、いろいろと学ばせていただきました。義務教育学校、安城親子留学、杉の子サポート隊、放課後子ども教室、公営塾「げん」、教職員配置、部活動の地域移行、・・・数え上げればきりがありません。これからは教育委員とは違った立場で、今一度、根羽村の子どもたちのために、さまざまな意見を発信していこうと思っています。

私の経歴から教育のことが中心になってしまいましたが、公報でお示しさせていただいた通り、3つの約束①地域の生の声を行政に！②子どもたちが輝ける根羽村ならではの教育の充実！③ゆりかごから墓場まで、ライフステー

ジに応じた支援の充実！を実現できるよう、日々精進してまいりたいと思います。

なお、朝から晩まで村で暮らすようになってやっと4年、村民の皆様の顔と名前がまだまだ一致しません。マスク生活でなおさらそうになってしまいました。女房にいつも叱られます。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお声掛けください。

初心を忘れず、根羽村の活性化のために働いていく覚悟でおります。どうかよろしくお願いいたします。

松下武久



この度、皆様にご支援いただき、村会議員として一歩を踏み出すことが出来ました。

本当にありがとうございます。新人議員として勉強学習し、真剣に取り組みます。

選挙公報でもお伝えしまし

たが、「コツコツと働く人が報われ、夢（希望）が持てる村を目指して」頑張っていきたいと思います。

とりわけ、少子高齢化問題は喫緊の課題です。

高齢化率県内3番目の根羽村にとって、高齢者対策をいかに取り組むか？

私自身高齢者施設で現在働いている立場からも、高齢者の安心安全を確保するため、近隣住民のご協力は不可欠と考えております。

また、高齢者施設の健全な運営は論を待つまでもありません。

早急な実現に向けて、介護職員の確保並びに処遇改善、老老介護及び独居高齢者対策に全力で取り組んでまいります。

少子化対策においては、安城市に多大な協力をしていただいておりますが、長期定住にはいたっておりません。

現在、地域おこし協力隊や役場職員等、多くのＩターン者が根羽村で活躍されており

ます。この方々が根羽村の人や自然に愛着を持って、根羽村に住みたいと感じられるように交流の場や意見交換の場を可能な限り多くつくっていき

たいと考えております。多くは語れませんが、短文で失礼いたします。

片桐康孝



新緑の季節を迎え根羽村に春の訪れを感じる時期となり畑や田んぼに勤しむ姿がチラホラ、農繁期の時期となりました。そんな中この度の根羽村議会議員一般選挙におきまして多くの方のご支援の下2期目へ挑戦する事ができこの場をお借りし感謝申し上げます。1期目は総務副委員長と経済委員長を経験させて頂きました。そんな中新型コロナウイルスの大流行により様々な行事が縮小、又は中止を余儀なくされた事はとても残念な事でありました。しかしながら昨年に行うにはゆるやかながらも行事等が開催された事は明るい話題でありました。5月

からは第5類に移行する事で
今後は行事等が復活するものと
期待をしております。そんな
中で今回の村議選に於いて
はなり手不足といわれながら
も12年振りの選挙が実施され
古参議員の心配をよそに8議
席中9人の候補が名乗りを上
げた事は明るい話題だと思
います。今後も議員のなり手
を模索していく事が責務と考
えております。さて2期目の
政策の1つとして農業問題
を取り上げておりますが少子
高齢化、担い手不足は喫緊
の課題であります。併せて
資材や光熱費の価格上昇は
農業者を圧迫しており早急
な対策が望まれます。併
せて古民家対策も運動させ
インターン者や協力隊の方
々の定住化をめざします。
これらの事を総合的に捉
え国が目指す食糧自給率の
アップに繋げたいと思いま
す。

我々が生きて行くのに食
べる事は最も基本的で最
優先されるべきでありそれ
に向けて農業が持続でき
るよう行政と議会が一致
団結して取り組みたいと思
います。新議長を中心に
統制のとれた議会運営を
目指します。各議員の考
え方に共通している事に
村を良くして行きたい
という思いが伝

わってきます。

同じ志を持った議員の
力を結集してこそ村の
あるべき姿が見えてくる
ものと確信しております。
行政と議会の連携を密
にして村民との懸け橋
になれるよう努力して
いく所存です。是れとも
皆さんのご理解、ご協
力をお願いし末筆ながら
挨拶とさせていただきます。

片桐清博



この度の村議会議員一般
選挙において、地区を
はじめ皆さま方のご支
援ご支持をいただき、
3期目の当選をさせて
いただきましたことを
心より感謝申し上げます。

2期8年間議会を経験
させていただき、様々
な問題が山積する状
況を目の当たりにし
てきました。特に高
齢化が進むなかで、
運転免許証返納問
題など交通弱者増
加に伴う移

動手段の早期対応と
システム化、また一人
暮らしの高齢者が不安
なく暮らして行ける
安心安全な福祉関連
の充実と、シニア世
代の皆さんをはじめ
誰もが元気で活きて
いきと明るく働ける
環境作りにも取り組
んでいきたいと思
います。

また、今回の選挙ス
ローガンに掲げまし
た「見える・開ける
・分かりやすい村へ」
は、村全体像の透明
化を図りたいと思
いによるものです。
今この村は何をして
いるのか、何処に向
かっているのか、不
明瞭であるとのお声
を伺います。透明で
誰もが理解しやすい
、皆さまに開けた地
域づくりを推進し
たいと考えます。

来年度には新伊勢
神トンネルの完成が
見込まれるなか、
近隣市町村との連
携による観光への
参加と再建見直し
も、自然豊かな根
羽村にとって重要
な事と思ひ、雇用
の創出や、若者が
地元へ戻り何か
事業を始めるき
っかけになれば
と考えます。飯
田市を中心とし
た南信州広域連
合はリニア中央
新幹線と三遠南
信道を軸にイン
フラ整備を進め
ており、根羽村
としても期待す
るところです。

3期目でございますが
初心

自衛官募集相談員の 委嘱式が行われました



平成9年4月から、13期
26年の長きに渡り自衛
官募集相談員としてご
尽力頂いている石原啓
充氏(新井)に対し、今
回14期目となる委嘱
式が5月11日に役場
で行われ村長、自衛
隊長野地方協力本部
飯田出張所長から委
嘱状が渡されました。



を忘れることなく、
根羽村の発展のため
地区懇談会など皆
さま方との対話を
大切に、明るく透
明に分かりやすく
住み良い村づくりに
取り組みます。そ
して将来子どもた
ちが

戻りたいと思える
根羽村を目指し、
皆さまと共に頑
張ってまいります
ので、より一層
のご支援ご協力
をお願い申し上
げます。

第2回臨時議会（初議会）を開催

統一地方選挙後の初議会となる第2回臨時議会が5月8日に開催されました。内容は、次のとおりです。

選挙

◆議長選挙

臨時議長（石原理好議員）による指名推薦により坂巻秀高議員が議長に当選しました。

◆副議長選挙

坂巻議長による指名推薦により石原理好議員が副議長に当選しました。

◆南信州広域連合議会選挙

坂巻議長が指名され、南信州広域連合議員に当選しました。

条例

◆根羽村税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

国の法律等の改正に伴い条例の改正が行われました。

人事

◆監査委員の選任に付き同意を求めること

新たに村議会の改選に伴い、三浦寛本議員が監査委員に選任されました。

その他

◆消防委員会委員の推薦

議長より片桐康孝議員・松下武久議員・三浦寛本議員の3名が推薦され承認されました。

◆議席の指定

◆常任委員会及び議会運営委員会委員の選任

表のとおり決定しました。

議会構成

議長	坂巻 秀高	副議長	石原 理好
総務委員会	◎ 片桐 康孝 6番 三浦 寛本 3番	○ 松下 武久 5番 坂巻 秀高 1番	
経済委員会	◎ 片桐 清博 7番 片桐 雅浩 2番	○ 片桐 紳一郎 4番 石原 理好 8番	
議会運営委員会	◎ 石原 理好 片桐 清博	○ 片桐 康孝 坂巻 秀高	

◎ 委員長 ○ 副委員長 数字は議席番号

統一地方選挙の結果

県議会議員一般選挙の結果

	当日の有権者	投票者計	棄権者	投票率
男	364	256	108	70.33
女	370	267	103	72.16
計	734	523	211	71.25

候補者名	得票数
川上 のびひこ	334
新 井 信一郎	12
熊 谷 み か	9
早 川 大 地	45
竹 村 なおこ	63
小 池 清	55
無 効 票	5
計	523

村長、村議会議員一般選挙の結果

村長選は無投票となりました。

	当日の有権者	投票者計	棄権者	投票率
男	362	309	53	85.36
女	366	305	61	83.33
計	728	614	114	84.34

候補者名	得票数
稲 垣 重 広	42
片 桐 紳一郎	83.267
三 浦 寛 本	91
片 桐 雅 浩	102.329
坂 巻 秀 高	59
片 桐 康 孝	46.148
松 下 武 久	53
石 原 理 好	53
片 桐 清 博	79.254
無 効 票	5
計	614





令和5年4月から、QRコードを利用した納付ができるようになりました

地方税共同機構が運用する「地方税お支払いサイト」での納付と納付書に印字された「el-QR」を利用した納付ができるようになりました。

O1 -対象税目-

・村県民税（普通徴収） ・固定資産税 ・国民健康保険税（普通徴収） ・軽自動車税（種別割）

O2 -納付書の変更点-

QRコードを印字した納付書の変更点は3つあります。お持ちの納付書をご確認ください。※1

- ①EL(エル)マーク…共通納税に対応した納付書であることを示すマークが印字されるようになりました。
- ②EL-QR…スマートフォンやパソコンのQRリーダーコーダーで読み取るためのQRコードが印字されるようになりました。
- ③EL番号…(例) 30122220100001065007 納付書の情報から成り立つ固有番号が印字されるようになりました。

※1 各自治体により納付書の記載が異なります。根羽村発行以外の納付書については発行元の自治体へご確認ください。

O3 -納付方法-

▲地方税お支払サイトへアクセスし納付

納付書のQRコードを読み取るか、el番号を入力してください。

◎対象のお支払方法

・クレジットカード払い・インターネットバンキング・ダイレクト方式(口座振替)・ATM(ペイジー番号発行)

▲スマートフォンQRコード決済アプリで納付

アプリで納付書のQRコードを読み取ってください。

・ご利用できる決済アプリは、地方税共同機構の地方税お支払サイトをご確認ください。

注意点

クレジットカード払いのご利用にはお客様負担のシステム手数料が掛かります。
ダイレクト方式のご利用には事前にel-TAXの利用者登録、口座情報登録が必要です。
上記方法で納付した場合、領収書は発行されません。
口座振替を契約中の方は、解約の手続きが必要です。
お支払いサイトでの納付はメールアドレスを事前にご準備ください。
重複納付にご注意ください。
納付書にelマーク、el-QR、el番号は記載されていない場合はご利用いただけません。
上記方法の納付により生じた障害・紛議について、当村は一切の責任を負いかねます。

※詳細は地方税共同機構の地方税お支払サイトをご確認ください。

インターネット

地方税お支払サイト

検索

地域おこし協力隊の紹介

名前・西川 彩花

こんにちは！今年の4月より、地域おこし協力隊として東京町田市から移住してきました、西川彩花と申します。みんなからは、クーちゃんと呼ばれています。

私の担当は根羽村の魅力を発信する「魅せる」、色んな想いを持っている方同士の横のつながりを結ぶ「つなげる」、サポートが必要な方の活動の後押しをする「広げる」の3つです。色んなところにピョコピョコ顔を出しておりますが（笑）お話をさせて頂いたらとても喜びます！

東京では漢方相談薬剤師をしていました。趣味は、健康に良くて美味しいご飯やお酒を作ったり、食べたりしながら和気藹々することです。あとは、自然や生き物が大好きです！楽しい宴や集い、自然体験などドシンドシお誘い下さい！



名前・白根 拓実

はじめまして。今年度4月から地域おこし協力隊の空き家対策として、埼玉県熊谷市から移住をしました白根拓実と申します。一昨年、大学の方を卒業しまして



2000年生まれの現在23歳です。大学では都市計画・建築・まちづくりといった分野を専攻していました。大学在籍時には「人」や「地域コミュニティ」というワードに興味を持ち、去年1年間は飲食店と設計事務所の方で働き、東京台東区でのリノベーションまちづくり事業を少しだけ担当していました。また、地元熊谷市でも空き家を活用した、シェア型本屋の拠点を実際に整備し場づくりを進めています。根羽村に来て1ヶ月と少し経ちましたが、綺麗な水と広大な空、個性を感じる村内の皆様と触れ合い日々楽しく過ごしております。空き家対策として、根羽村で活動をしていきますが、現在は村内に点在している空き家の建物外観の写真撮影や、空き家所有者の調査等を行っています。いろいろと手探りな状況のために、ご迷惑をおかけすることも多くあると思いますが、少しでも早く活動の内容・計画を村民の皆様へ、共有できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。空き家の調査という枠組みの中で、根羽村の地域おこしを少しでも協力できたらと思います。

名前・上村 小春

自己紹介

はじめまして。4月より根羽村の地域おこし協力隊となりました上村小春です。

普段は、根羽学園のICT支援や、地域と学校をつなぐコーディネーターとして教育を中心に活動しております。



出身は兵庫県宝塚市ですが、大学卒業後に福岡県にて小学校教員を3年経験しました。その後は、岡山県、北海道で公営塾のスタッフや教育支援の活動を行ってきました。

その土地で出会う方々や、その地にしかない環境や文化にいつも新鮮さを感じながら生活していました。

すでに根羽村の皆さんのあたたかさや、自然の豊かさなど、根羽村ならではの暮らしに日々ワクワクしています！

取組と今後の目標

子どもたちに「根羽村で育ったことに誇りを持ってほしい」という願いがあります。根羽村の人々のあたたかさに触れたり、根羽村にしかない資源を活用したりと、様々な経験を通して根羽村を好きになってほしいと思っています。また、子どもたちだけではなく、そこに関わる大人も一緒になって学んだり、悩んだり、楽しんだり、そうして村全体を盛り上げることができればと考えています。

そのために根羽学園を中心として、子どもたちや先生方はもちろん、保護者や地域の方々を巻き込みながら、教育活動を行っていききたいと思っています。

教育活動に対して様々な方々にサポートをいただいております。みなさまの支えなしでは活動できないと痛感しています。

まだまだ力不足な部分が多々ありますが、根羽村の教育を盛り上げられるように頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

筒井甫氏(取手) 旭日單光章を授与される

1月19日で満88歳になられました、筒井甫氏に、旭日單光章が授与され、3月28日に伝達式がやまあいホール行われました。

氏は、平成3年5月、地域住民より推されて根羽村議会議員に当選し、以来平成15年4月までの、3期12年の永きに



亘り在職し、特に平成11年5月から13年4月までの2年間は副議長として、平成13年5月から平成15年4月までの2年間は議長として議会の円滑な運営にご尽力されました。また、氏は、議会経済常任委員長や、議会産業経済委員会副委員長並びに議会経済副委員長を歴任し、高邁な政治信念をもって根羽村の産業、経済の向上に多大な貢献をした。

行政相談委員のご紹介

総務大臣から、根羽村の行政相談委員に、片桐寛美さん(小川)が委嘱されました。

片桐寛美さんは、令和2年から行政相談委員に委嘱され、村民の皆さんからの相談に真摯に取り組んでいただきました。

行政相談委員は、行政などについての相談に応じて、アドバイスをしたり、関係機関に連絡したりします。困ったこと、分からないことなど、ひとりで悩まず、お気軽に相談してください。

総合健診について

健診を受診し、生活習慣を見直すことで生活習慣病発症予防・重症化予防だけでなく、介護予防にもつながります。

自分の健康状態について正確な知識を持つために年に一度必ず受診しましょう。

まだ申し込みをされていない方は、役場住民課までご連絡ください。

日程内容

日 時：6月23日(金) 午前8時～午後3時(受付時間は個別で連絡します)

場 所：しゃくなげ やまあいホール

持ち物：問診票、自己負担金、保険証(加入保険確認のため) 着脱しやすい格好でお越しください。

《基本健診》

特定健康診査(対象 40～74歳)

・問診、身体測定、腹囲測定、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図、眼底検査

健康診査(対象 75歳以上)

・問診、身体測定、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図、眼底検査

《胃がんリスク検査》(対象 79歳以下で検査を1度もしたことのない方)

・血液検査により胃粘膜の萎縮の程度やピロリ菌感染の有無を測定して将来の胃がんリスクを予測します

《大腸がん検診》(対象 40歳以上)

・便に血液が混ざっている便潜血検査を実施します

《前立腺がん検診》(対象 50歳以上男性)

・血液検査によりPSAという前立腺に特異的なタンパク質の値を調べます

問診票等、順次配布します。

お手元に届きましたら、必ず鉛筆で記入してから会場へお越しください。

お問合せ・お申込み

根羽村役場 住民課 TEL：0265-49-2111



令和5年度シニアクラブ総会が開催されました

令和5年5月11日に、シニアクラブ総会がコロナ感染対策をしながら、会員を招集し開催されました。

コロナ禍に入り、役員のみで開催するなど、規模縮小により開催されてきましたが、今日は役員を含め、会員27名が出席し開催されました。

総会では、令和4年度に下伊那郡シニアクラブ連合会からの表彰を受けられた方、今年度米寿・喜寿を迎えられる方に対し賞状・記念品をお贈りし、令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度事業計画及び収支予算、シニアクラブ会則の改正、役員改選について議事が進められ、原案どおり承認されました。

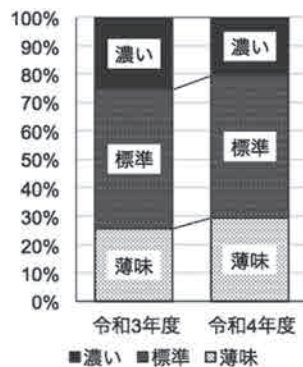
総会終了後の講演会では、講師として、村長4期目に当選された大久保憲一・村長と、この3月から根羽村駐在所に赴任された西田秀樹巡査部長に講演していただきました。

今後も、シニア憲章をモットーに活動を続けていく所存です。



令和4年度 ぽてとの会・社協 みそ汁塩分測定集計結果

地域	出席数 (軒)	前年比 (軒)	持参数 (軒)	前年比 (軒)	持参率 (%)	みそ汁塩分濃度 (人)							
						薄味		標準		濃い味			計
						0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	
北洞	17	-1	7	-4	41.2	0	1	3	1	2	0	0	7
中央	6	-2	0	-2	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洞	16	-2	12	0	75.0	0	2	4	3	2	1	0	12
南洞	9	-5	8	-4	88.9	0	3	1	2	0	2	0	8
西洞	12	0	7	1	58.3	1	3	2	1	0	0	0	7
村総計	60	-10	34	-9	56.7	1	9	10	7	4	3	0	34
%						2.9	26.5	29.4	20.6	11.8	8.8	0.0	100.0



「ふれあいサロン」(社協主催)が、令和5年1月26日から3月2日まで13か所で開催されました。

ぽてとの会(根羽村食生活改善推進協議会)は、「私たちの健康は、私たちの手で!」を合言葉に、村民の皆さんの健康長寿を願った活動を行なっています。今回も、ふれあいサロンに参加し、おみそ汁を持参された方を対象に家庭のみそ汁の塩分濃度を測定しました。

ご協力いただいた34世帯の結果は、濃い味の世帯は20.6%と昨年の25.6%から減少し、薄味又は標準の世帯は79.4%と昨年の74.4%から若干増えていました。

塩分の摂り過ぎは、脳梗塞や脳出血、心筋梗塞や腎硬化症等を引き起こす恐れがあり、発症後は要介護状態になりやすいとも言われています。村民の皆さんに末永く健康で楽しい毎日を過ごしていただき、健康長寿の方が増えるよう、塩分の摂り過ぎに気を付けて下さい。

ぽてとの会では、月に1回程度、健康的な薄味のバランスの良い食事や旬の野菜を使った調理実習などの自主学習も行っています。興味のある方は、一緒に活動してみませんか。見学希望の方は、お近くの会員が役場住民課(食改担当)へお知らせください。村民の皆さんのご参加をお待ちしています。

駐在所警察官のご紹介



和歌山県出身
1978年生(45歳)
西田 秀樹

駐在所勤務は4カ所目です。家族は、妻と子供2人(小学2年生・年長)。早く根羽村になれて、根羽村の安心安全活動を実施して参りますので、家族共々よろしく願いいたします。

新規採用職員のご紹介



住民課配属
長野県喬木村出身
2001年生(21歳)
寺島 峻介

根羽村と同じ下伊那郡の喬木村から来ました。根羽村でいろいろな体験や経験をしながら楽しんで仕事をしたいと思います。まだまだ分からないことも多いですがよろしく願いします。



広報

ねば

2023.May. No.216

【人口と世帯】総人口 842人／男 422人／女 420人
世帯数 413世帯（令和5年4月30日現在）

【内訳】すぎ 内訳あり

URL: <http://nebamura.jp/> E-mail: info@nebamura.jp 印刷/龍共印刷株式会社

発行/根羽村役場 住所/〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村213-1-1
TEL/0265-49-2111 FAX/0265-49-2277



根羽学園入学式 6名の新生が入学しました

4月6日、根羽学園の入学式が行われました。

6名の新生は、少し緊張した面持ちで入場しましたが、式典が終わり、退場する際には、時折笑顔を見せていました。

松岡校長先生から、新生に向けて「お日さまにも負けないぴっかぴかの6名の1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんに小学生としてやってもらいたいことを2つお話しします。1つ目は、自分でできることを増やすということです。朝はできるだけ自分で起きる、学校の準備は自分でやるなど、今はできなくても自分でできることを増やしていったほしいと思います。2つ目は、おはようございます、お願いしますなど、元気な挨拶や返事をするということです。1年生の皆さんの元気の良さと明るさで根羽学園全体を明るく楽しい学校にしていきたいと思います」と、歓迎の言葉が掛けられました。

今年度は、新生6名、安城市等からの転入生5名を加え、全校児童生徒40名でスタートしました。



保育所入園式

令和5年4月4日（火）に根羽村保育所で入園式が行われました。今年度年少に2名のお友達が入園し、未満児さん含めて19名で元気にスタートしました。入園式では名前が呼ばれると大きな声で返事をして着席をし、一つ進級した喜びと自信がとても頼もしく感じました。

保育園児の皆さん、今年度もお友達とたくさん遊んで、たくさんのモノやコトに触れ、たくさんの発見をして園生活を存分に楽しみましょう！地域の皆さんにもご支援とご協力をお願いすることも多々あるかと思いますがよろしくお願いします。

令和5年度 根羽村消防団役員

令和5年度の消防団の役員は次のとおりとなりました。今後とも消防団活動に対し皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、火災予防にも努めて頂きますよう、お願い致します。

団 長	石 原 幸 伸
副 団 長	鈴 木 孝 宏
本 部 長	松 下 剛 樹
旗 手	大久保 裕 貴
第一分団	
分 団 長	筒 井 邦 典
副分団長	佐々木 邦 敏
//	松 下 龍 一

